

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第2区分  
 【発行日】平成19年4月19日(2007.4.19)

【公開番号】特開2005-294310(P2005-294310A)  
 【公開日】平成17年10月20日(2005.10.20)  
 【年通号数】公開・登録公報2005-041  
 【出願番号】特願2004-103051(P2004-103051)  
 【国際特許分類】

**H 0 1 L 21/027 (2006.01)**  
**B 2 3 K 15/06 (2006.01)**  
**G 0 3 F 7/20 (2006.01)**  
**G 2 1 K 5/04 (2006.01)**

【F I】

H 0 1 L 21/30 5 4 1 B  
 B 2 3 K 15/06  
 G 0 3 F 7/20 5 0 4  
 G 2 1 K 5/04 A  
 G 2 1 K 5/04 M

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月28日(2007.2.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

エネルギー線を発生するエネルギー線発生部、被照射体にエネルギー線を照射する照射部、前記エネルギー線発生部と前記照射部との間に配置された差動排気部、を備えることを特徴とするエネルギー線照射装置。

【請求項2】

差動排気部が、エネルギー線の進行方向に対して斜めに横切る遮蔽板により、第1のチャンパーと第2のチャンパーを形成するように仕切られており、第1のチャンパーおよび第2のチャンパーがそれぞれ排気口を備えていることを特徴とする、請求項1に記載のエネルギー線照射装置。

【請求項3】

複数の差動排気部を有することを特徴とする、請求項1または2に記載のエネルギー線照射装置。

【請求項4】

0.1Pa以上の圧力下でエネルギー線を照射することを特徴とする、請求項3に記載のエネルギー線照射装置。

【請求項5】

不活性ガスの存在下でエネルギー線を照射することを特徴とする、請求項4に記載のエネルギー線照射装置。

【請求項6】

エネルギー線の断面形状の短軸方向に被照射体を移動させることによりエネルギー線を照射することを特徴とする、請求項5に記載のエネルギー線照射装置。

【請求項7】

被照射体の移動速度を変化させることにより、被照射体に照射されるエネルギー線量を変化させることを特徴とする、請求項 6 に記載のエネルギー線照射装置。

【請求項 8】

エネルギー線の照射に用いる差動排気装置であって、エネルギー線の進行方向に対して斜めに横切る遮蔽板により、前記差動排気装置が第 1 のチャンバーと第 2 のチャンバーを形成するように仕切られており、第 1 のチャンバーおよび第 2 のチャンバーがそれぞれ排気口を備えていることを特徴とする、差動排気装置。